

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	心理学
科目基礎情報						
科目番号	0116			科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	情報電子工学科			対象学年	5	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	「新・心理学を今に活かす」教育情報出版 (2,200円)					
担当教員	羽瀧 由子,倉増 泰弘					
到達目標						
1. 人間行動の背後にある、心理的メカニズムを考えられるようになる (心理学的な問題意識の獲得) 2. 基礎的な心理現象について知る (心理学的知識を得る) 3. 主体的な授業参加を通じて、学習項目への理解を深める						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1 心理学に関する基礎知識の習得	代表的な心理現象、重要概念など学習項目についての知識が内部で整理・体系化されており、それらを自分の言葉で的確に説明することができる。		代表的な心理現象、重要概念について、大まかに理解ができており、当該項目の名称を答えたり、その内容を正しく説明する記述を選ぶことができる。		代表的な心理現象、重要概念の名称や内容について知らない、理解できていない。	
評価項目 2 授業への主体的参加	実験・ディスカッション等の課題に積極的に参加できている。自発的に質問したり、意見を述べる。注意深く仕上げられた課題を提出する。		授業内で行う実験・ディスカッション等に参加する。課題を提出する。		授業内で行う実験・ディスカッション等にまじめに参加しない。課題を提出しない。	
評価項目 3 心理学的な問題意識の獲得	授業内で取り上げた事象だけでなく、自分の専門分野や日常生活に引きつけて問題を発見し、心理学的に考察することができる		授業内で取り上げた心理現象について、メカニズムを説明することができる		授業内で取り上げた心理現象について、メカニズムを説明することができない	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2 JABEE b						
教育方法等						
概要	心理学は、英語ではサイコロジー(Psychology)。サイコは「心」をあらわし、ロジーは「学問」とか「科学・法則」を示す。心理学は人の心や行動について、単に頭の中であれこれと考えるだけでなく、調査や実験、あるいは実践を通して現実のデータとつき合わせながら、実証的に知識を構築していく学問である。本講義では「行動科学としての心理学」という視点に立ち、私たちの様々な行動について、心理学的に理解するための方法や基礎知識について「身体」「自己」「他者」「社会」という4つの視点から解説する。受講学生はこれらを通じて、「心理学的に考える」ことのアウトラインをつかみ、専門分野における学びや日々の生活に活かしてほしい。					
授業の進め方・方法	各回ごとに定めたテーマについて、テキストとスライドを用いて基本的な概念・現象の解説を行う。また、関連する実験や心理検査を実体験する機会を設けるので、受講生はそれらの課題に積極的に取り組むことで、理解を深めてほしい。授業終わりのふりかえり課題(コメントペーパーを含む)への取り組みを通じて、学習内容の整理と知識の定着を図ることに努めてほしい。					
注意点	注意事項：この授業は、半期で完結。前・後期に同様の内容を実施。定期試験の平均が7割、課題を3割で評価する。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション：心理学とはどのような学問か？ 心のはじまりは身体と動きから	心理学が向き合う研究テーマ・領域の広がりと研究手法について理解する。		
		2週	五感が心の材料	感覚器官と脳の情報処理について理解する。		
		3週	もの・こと・ひとはどう見えるか——知覚や認知のバイアス——	知覚の定義, 知覚と情報処理 (文脈効果と選択的注意, スキーマ, ステレオタイプ) について理解する。		
		4週	感情の役割——ネガティブな感情も必要——	感情の定義, 感情と身体の関係, 感情の発達, 感情の機能と役割について理解する。		
		5週	自分を知り, 自分とうまく付き合う	性格の定義, 自尊感情, 自己概念, 自己評価について理解する。		
		6週	自分を心豊かに成長させる	発達の定義, 発達の基本原則, 動機づけ, メタ認知について理解する。		
		7週	自分を整える	思考, ストレスとストレスマネジメント, 援助要請について理解する。		
		8週	心豊かな人生を送る	キャリア発達と人間関係, 好意について理解する。		
	2ndQ	9週	魅せる, 見せる	印象形成, 対人魅力と対人嫌悪, 自己呈示と自己開示について理解する。		
		10週	人間関係の原理を知り, スキルを磨く	社会的交換理論, 言語的・非言語的コミュニケーション, 社会的スキル, SNSにおけるコミュニケーションについて理解する。		
		11週	チームで働く力を磨く——自分に合ったリーダーシップスタイル——	チームの定義, チームビルディング, リーダーシップについて理解する。		
		12週	社会を動かす, 知っておくべき集団心理	集団で意思決定をするときの特徴, 社会的促進と社会的抑制, 社会的手抜き, 責任の分散について理解する。		
		13週	災難・災害にしなやかに対応する心づくり	災害時の心と行動について理解する。		

		14週	よりよい社会を目指して		社会的ジレンマについて理解する。			
		15週	期末試験					
		16週	答案返却など		試験の講評と解説を行う。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100	
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	